



いまばり

# 市議会だより



## Contents

代表質問 .....	2	表彰の伝達 .....	9
一般質問 .....	3	常任委員会視察報告 .....	10
委員会審査 .....	6	決算特別委員会委員長報告(概要) ..	12
議案の審議結果 .....	8	今治青年会議所との意見交換会を開催 ..	13
姉妹都市合同研修会 .....	9	議会日誌 .....	14

令和4年度 一般会計補正予算  
9億3,369万2千円 原案可決

今治市議会 HP  
はこちら



河津桜とメジロ (のまうまハイランド) 写真提供者: 渡辺正子さん

# 12月定例会のあらまし



今治市議会  
(会議録の閲覧と検索)

閲覧期間  
令和5年7月上旬以降



YouTube  
(今治市議会)

閲覧期間  
令和5年2月28日まで

今定例会は、5日から21日までの17日間の会期で開催されました。

5日の本会議では、各常任委員会の委員長が、行政視察の報告を行いました。続いて令和3年度の決算関係議案について、決算特別委員長から審査の概要についての報告があり、決算関係議案の認定等を行いました。

その後、令和4年度の補正予算案が7件、条例案が9件、その他の議案が12件、専決処分報告が1件、合わせて29件が提案されました。

7日、8日、9日の3日間は、13人の議員が一般質問を行いました。8日の上村議員の一般質問の際、再質問の扱いについて休憩をとり、議会運営委員会を開き、通告内であるということが確認され、会議を再開しました。また、上村議員からこの経緯について、議会運営委員会の委員長報告を求める動議が提出、可決され、9日の冒頭、先述の報告が行われました。

21日の本会議では、各委員会の委員長報告の後、議案について採決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。次に議会運営委員会による「今治市議会個人情報保護条例制定について」の発議と、理事者から「令和4年度一般会計補正予算(第7号)」の提案があり、いずれも原案を可決し、今定例会を閉会しました。

## 12月定例会

## 代表質問



音輪 会  
(達川雄一郎)

### イベントを軸とした今治市の活性化について

**Q** 10月以降今治市ではたくさんイベントが開催された。10月のブルーインパルス展示飛行ではその迫力に圧倒され、11月13日から開催されている、みなとマルシェでは、若い人たちの参加も見られ明るい未来を予感させるが、10月以降のイベントの実施状況、効果が一過性になりがちな各種イベントの今後の取り組みについて伺う。

**A** 「ブルーインパルス」の展示飛行には全国から約20万人の来場者があったほか、市内各所で多くの市民の皆さんに観ていただけた。イベン

トはその時々開催がゴールではなく、発展させていくことが重要である。例えば「せとうちみなとマルシェ」は、地元で隠れた名産品や人気商品を、市民の皆さんの力でさらに磨き、「今治ブランド」に育て全国への販路拡大へと繋がることまでを見据えている。来年1月にはFC今治の本拠地「里山スタジアム」が完成するが「こけら落しイベント」に今治市も全面協力したい。しまなみ海道の賑わいを、今治港周辺や中心市街地に引き込み、それを里山スタジアムの365日の賑わいに繋げ、さらには、鈍川温泉へと展開するといった長期的な狙いもある。2年後には合併20周年を迎える、市民の皆さんと一体となって魅力的かつ持続可能な「今治らしいイベント」を各地域で展開し、今治に吹き始めた新しい風を、全国へと届けることができるよう、全力で取り組んでまいりたい。



創政 会  
(近藤 博)

### 愛媛県立今治病院の建て替えについて

**Q** 愛媛県知事の公約に「老朽化が課題となる県立今治病院の在り方について本格的な検討を進める」と明記されましたが、市の考え方についてお尋ねします。

**A** これまでより一歩踏み込んだ形での方向性が示されたことは歓迎すべきことであり、本格的な検討段階に入っていただけのもので大いに期待を寄せています。

**Q** 候補地について伺います。可能ならば現在の敷地を拡張して整備していただきたいが、今治新都市にはすぐにも着工可能な用地もあると聞いています。候補地を決めるのは県ですが、

仮に新都市用地で建設となった場合、現在の跡地利用についてしっかりと対応していただきたいが、市の考え方をお聞かせください。

**A** 周辺の農地は調整に相当の時間を要することが考えられ、造成に期間と費用が必要となる。さらに病院利用者や救急車と工事用車両との動線分離が困難である。すぐに建設に取りかかれる候補地として新都市第二地区しまなみの杜一一二に市有地があり、今治IC、今治北IC等からのアクセスも容易なことから、しまなみの杜一一二を有力な候補地として早期建設を働きかけ、跡地の有効活用も県としっかりと協議してまいりたい。



現 愛媛県立今治病院



上村 悦男  
(清風会)

しまなみ合同庁舎(仮称)について

**Q** しまなみ振興局は、なぜ改修をする伯方開発総合センターでの業務ではないのか。

**A** 開発総合センターの大規模改修をした場合、合同庁舎を新たに建設するよりもコストを要することに加え、現在、住民がよく利用している会議室や和室を削減する必要があり、本来の公民館活動に支障が生じること、また、感染症対策を考慮した空間が確保できないことに加えて、建築して既に37年が経過しており、庁舎として活用できる期間が限られるなどの問題があった。

なお、現在行っている開発総合センター改修工事は、点検時における指摘箇所や、屋上防水シートの補修など、公民館機能

を維持するものが殆どを占めており、仮移転の間は開発総合センターの利用が一部制限されるが、合同庁舎完成後は、再び公民館として全館利用できるようにする。

合同庁舎の設置場所は開発総合センター前の駐車場内として、現在、設計を進めており、公共建築物の総延床面積削減の観点から、現在の伯方支所の約4割程度の面積にダウンサイジングした、コンパクトな建物を予定している。整備方針としては、防災対策機能、ユニバーサルデザイン、バリアフリー、自然エネルギーの活用、スマートオフィス化などを取り入れた、環境にやさしい魅力ある庁舎を目指していく。

今後も、しまなみ地域の地域振興を図るための核となる施設として、合併特例債の期限である令和6年度末までの竣工を目指して、整備していきたい。

ほかの質問

- 今後の岡村小学校 関前中学校の在り方について
- 学校以外の子ども居場所づくりについて



野間 有造  
(権興会)

消防のパワーハラスメント行為について

**Q** 消防のパワーハラスメントを受けての市長の所感について

**A** 市民の皆様の信頼を著しく損ねる事態になったことは誠に遺憾であり、深くお詫びを申し上げます。市長就任以来、市職員や市民の皆様とともに、今治に新しい風を吹かすべく多くのことに懸命に取り組んできましたが、その根底にあるのは市民の皆様からの期待と信頼であると思っております。それだけに、今回の事件によってこれまでの努力が無に帰してしまうのではないかと、誠に残念でなりません。

緊急時に一糸乱れぬ行

動が求められる消防組織には、確かに上意下達の厳格な服務規律が必要であり、それが、上司に意見が言いづらい、言いたい事が言えない組織風土となるのかもしれない。

しかし、消防組織にあっても「市民が真ん中」であるべきで、決して「上司が真ん中」ではないのです。今回のことを契機に、市民のために仕事をしたいという強い意識を改めて持ち、指揮命令系統や仕事の進め方で問題がある部分は速やかに改革し、一日も早く消防組織に内在する「膿」を出し切るため、市民の皆様への負託に応えられるような組織土壌に改良する必要があります。

今回の事件を「消防組織の問題」として片付けられるのではなく、「市役所組織全体の問題」としてしっかりと受け止め、ハラスメントの芽を早期に摘み取り、風通しの良い職場環境づくりに組織を挙げ、全力で取り組んでまいります。



丹下 大輔  
(権興会)

マイナンバーカードの普及促進について

**Q** マイナンバーカードはデジタル社会の基盤。政府は全ての国民に交付を目指しているが、今治市の申請及び交付件数の現状を伺う。また、カード取得を拒む理由に個人情報流出が挙げられるが、市民への不安払拭に向けた取組を伺う。

**A** 現在の申請率は68・80%、交付率は59・73%。個人情報流出の不安払拭は、9月に今治青年会議所主催のセミナーで利便性、安全性等について出前講座を実施。今まで以上に出張講座や市の公式LINEを活用して周知を行う。

現在の申請率は68・80%、交付率は59・73%。個人情報流出の不安払拭は、9月に今治青年会議所主催のセミナーで利便性、安全性等について出前講座を実施。今まで以上に出張講座や市の公式LINEを活用して周知を行う。

不登校児童生徒への支援について

**Q** 「教育機会確保法」施行以降、不登校支援は学校以外の多様な学びの機会を保障する学習権の確保が力ギを握る。不登校対策として県の事業である校内サポートルーム設置は令和3年度、4年度の2か年のモデル事業だが今後の展望を伺う。不登校の児童生徒の保護者の切実な声から紡がれる課題は相談体制だ。保護者の孤立感や不安解消に向け支援情報の入手に加えて専門的相談が可能な機会を拡充すべきと考えるが所見を伺う。

**A** 校内サポートルームは立花中学校がモデル校。現在29名が利用を申込み、1日平均で10名程度を支援。今後は県に事業の継続や市への支援をお願いしたい。また、議員発言の通り、保護者の心情に寄り添い、今後各学校のホームページ上への相談窓口開設やLINE等を活用した相談体制整備を検討したい。

校内サポートルームは立花中学校がモデル校。現在29名が利用を申込み、1日平均で10名程度を支援。今後は県に事業の継続や市への支援をお願いしたい。また、議員発言の通り、保護者の心情に寄り添い、今後各学校のホームページ上への相談窓口開設やLINE等を活用した相談体制整備を検討したい。



松田 澄子 (日本共産党)

公共交通の整備について

Q 高齢者の運転事故が多発し高齢ドライバーの運転が社会問題になっていきます。朝倉と吉海地区での乗合タクシー実証実験の結果を伺います。

Q 食・医・教育・仕事・行政が「近くにある」と感じるよう、住みやすさを実現する交通・移動手段を具体化する必要がありますが、公共交通をどのように考えているか伺います。



松田 澄子 (日本共産党)

デマンド型乗合タクシーは、バス路線の代替という考え方はなく地域の実情やニーズに適した形で、かつ採算性も考慮しながら持続的な移動手段として利用状況なども参考に検討してまいります。今後調査研究を進め、必要に応じて地域ごとの移動手段の最適化を図ってまいります。

Q デマンド型乗合タクシーは、バス路線の代替という考え方はなく地域の実情やニーズに適した形で、かつ採算性も考慮しながら持続的な移動手段として利用状況なども参考に検討してまいります。今後調査研究を進め、必要に応じて地域ごとの移動手段の最適化を図ってまいります。

Q 令和3年度実績で母子・父子の自立相談件数は325件で、その内訳は就労195件、経済的なこと130件です。婦人相談は678件で、その内訳はDVが161件、離婚131件、経済的なこと106件、子どもに関してが75件、その他が205件となっています。

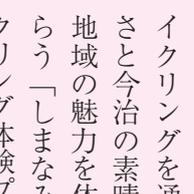


森本 真博 (清風会)

今治市サイクルシティ推進計画について

Q 現在の進捗状況と今後の予定について。

Q 令和3年度実績で母子・父子の自立相談件数は325件で、その内訳は就労195件、経済的なこと130件です。婦人相談は678件で、その内訳はDVが161件、離婚131件、経済的なこと106件、子どもに関してが75件、その他が205件となっています。



森本 真博 (清風会)

第1回今治クリテリウム開催の効果と今後の展望について

Q 実行委員会の推計では、当日の来場者数は約13万人で、1億1800万円を超える経済波及効果があったとされています。今後、実行委員会が第2回の開催を検討をされていると伺っております。本市におきましても「サイクルシティIMABARI」を掲げ、「自転車新文化」を一層定着させるべく、市民の皆様のご意見なども頂戴しながら、各種支援や協力体制について引き続き検討を深めてまいります。

Q 実行委員会の推計では、当日の来場者数は約13万人で、1億1800万円を超える経済波及効果があったとされています。今後、実行委員会が第2回の開催を検討をされていると伺っております。本市におきましても「サイクルシティIMABARI」を掲げ、「自転車新文化」を一層定着させるべく、市民の皆様のご意見なども頂戴しながら、各種支援や協力体制について引き続き検討を深めてまいります。

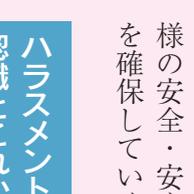


黒川 美樹 (優風会)

関前地域から見る諸課題と地域振興について

Q 人口減少に伴い職員数も減少している。特に災害時の対応のためにも、現役職員の体制づくりを検討すべきではないか。

Q 人口減少・少子高齢化が急速に進展する中、通常の支所業務はもとより、災害発生時に備えた職員配備が大きな課題となっている。今後、地域コミュニティから生まれる「共助の力」を活かした「関前モデル」の構築を目指すとともに、自主防災組織の育成、緊急時の人的・物的支援体制の再点検、防災・発災情報の迅速な伝達方法の円滑化、災害時における広域支援体制の再構築など



黒川 美樹 (優風会)

ハラスメントに対する認識とこれからの職場環境の改善について

Q ハラスメントは立場が上の者が下の者に対して行う嫌がらせのことである。多くのハラスメントは加害する側に「自分が加害をしている」という認識が生まれにくい。「加害者の視点」が優先されやすい社会構造があるからだ。今回、記者会見の中で「パワハラ研修を実施していく」ということだが、どのように実施していくのか。

Q アンケートの結果、パワハラ行為者は上司が最も多かったことから、令和3年度より管理職を対象に研修を実施している。今年度は、ハラスメント相談員を対象とした研修も実施し、相談対応のスキルアップも図る。



内山 葉子  
(政常会)

**新型コロナワクチン  
乳幼児接種、新型コロナ  
ワクチン接種被害、副反応、後遺症  
対応について**

**Q** 誤接種等、他市事に非常にも懸念があるが、インフォームドコンセント（医師と患者との十分な情報を得た上での同意）に関する本市の接種体制について伺う。

**A** 接種に際して医師に十分に相談し、納得と合意のうえで選択していただける体制としており、インフォームドコンセントがとられているものと考えています。

**Q** ワクチン接種の被害について、本市の副反応報告等の状況を公表して、リスクを市民の皆様へ伝える必要があると思うかがか。

- ・学校給食について
- ・今治市消防本部で起きたパワーハラスメントについて

ほかの質問

**A** 今後、年代ごとの報告件数を公表し、接種の参考としていただきたいと考えています。

**Q** コロナワクチン接種履歴のデータ管理について、国は接種予診票を5年間保管するようになっているが接種履歴をデータ化して5年間よりも長い期間管理するべきと考えるかがか。

**A** 副反応による健康被害の発生時期等を考慮し、適切な記録の管理に努めてまいりたい。

**Q** ワクチン接種後の副反応、後遺症により生活困窮となった世帯に対する本市の支援について

**A** 「くらしの相談支援室」にて、必要に応じて適切な救済制度や専門的な窓口の紹介もさせていただきます。



達川雄一郎  
(音輪会)

教育行政について

**Q** 昨年10月に今治市教育大綱が策定されてから1年が経過した。大綱の実行状況について伺う。また、街づくりの根幹は人づくりであり、人が育たない社会は滅んでしまうと考えるが、令和5年度における教育予算の位置づけはどのようなになっているのか伺う。

**A** 本市の教育大綱は、「子どもが真ん中」の理念を実現するため、子どもを支える大人や地域社会が、時代の求める教育の在り様の变化を絶えず汲み取って、着実に実践に移すことを基本方針として策定したものである。まさに、再起動の1年であったが、変化す

る時代の中で、日々の新しい課題に対応するため、固定概念にとらわれず変化し続けることを教育委員会にお願いしている。具体的には、市内2つの大学と小中学生の協働による探究型学習、校内サポータールーム設置や支援員の配置による不登校の生徒への支援などがある。今後大綱の見直しも行いながら、子どもが輝くやさしいまち、今治、実現のため、しっかりと取り組んでまいりたい。

市長は教育関係の予算の編成・執行権限を有している。他の分野とのバランスを考慮する必要はあるが、教育予算については「未来への投資」である。国への要望とともに、可能な限りの予算措置を図りたいと考えている。

ほかの質問

- ・新型コロナウイルス感染症第8波について



山岡 健一  
(権輿会)

しまなみ通行量調査について

**Q** 通行量調査の現在の状況について。

**A** 住民の皆様にご協力をお願いしたE・T・Cカード番号を元に、2019年1月から2022年3月末までの通行量データを抽出し、しまなみ海道の利用実態を分析しました。利用金額は1世帯当たり平均月額で約14000円の結果でした。また、全体の平日1日あたり走行台数は減少していますが、E・T・Cカード番号をお届けいただいたしまなみ海道沿線の方々の走行台数は増加しています。このことは、しまなみ海道沿線の方々にとって、「唯一の生活道」であることが

数字としてしっかり確認できたと思います。今後は目的別の利用実態を詳しく把握し、施策の実現に向けた検討を行ってまいります。

障害児通所支援について

**Q** 保護者が送り迎えをした場合の有料道路通行料金の支援方法はないのか。

**A** 放課後等デイサービスを利用する障がい児は、療育手帳等の取得がサービス利用の条件ではないため、多くの方が有料道路割引制度の対象外となっているのが現状です。このように、制度の狭間でお困りの方があることを痛感し、解決に向け優先的に取り組むべきであると再認識しました。放課後等デイサービスを利用される方々への支援方法についても、しっかりと実態把握をしながら検討してまいります。



谷口 芳史  
(公明党)

伴走型相談支援につ  
いて

**Q** 公明党が発表した「子育て応援トータルプラン」の中から政府がうちだした総合経済対策のうち、育児の「伴走型相談支援」は妊娠中から出産、0歳から2歳児までを対象に相談の支援を行い、できるだけ同じ保健師や助産師が継続的に面談や自宅訪問などを行い、親子に寄り添い「伴走」する形で出産、育児を助け本来のネウボラの形に近いものです。今治版ネウボラ施策を行っている本市にとって実施をすべきと思いますがお考えをお聞かせください。

相談支援は、より子育て家庭に寄り添った支援に繋がるものであることから速やかに所要の予算措置を行い、早期の事業実施に向けて取り組んで参ります。

高齢者世帯へのごみ  
出し支援について

**Q** ごみ出し支援について、現在の検討の状況はどのようになっているのか、支援制度の導入はどのように検討されているのかお聞かせください。

**A** 高齢者や障がい者の日常生活を支援するために速やかに導入すべきであると判断し、令和5年4月から実証事業として5地区をモデル地区に選定、運用を開始し、その結果を検証したうえで対象地区をさらに追加し、近い将来市内全域での事業実施に繋がると考えています。

**A** 今回新たに制度化された国の伴走型



永井 隆文  
(公明党)

認知症対策の取組に  
ついて

**Q** 認知症予防の取組について

**A** 今治市の本年4月1日時点の認知症高齢者数は6516人で、65歳以上の高齢者の11.9%、約8人に1人が認知症を発症している。認知症は早期に見出し治療や適切な支援を受けることができれば進行を遅らせ本人の生活の質の低下を防ぐとともに、ご家族の負担を軽減することにもつながる。早期発見・早期治療に繋げるためには、周囲からのアプローチが何よりも重要であるとの観点から、本市においても様々な取組を実施している。VR認知症体

験会の開催や認知症サポートの養成。その認知症サポーターの方々がボラティアで運営されている認知症カフェの活動。地域包括支援センターでは平成27年度から認知症予防教室を開催し、延べ3479人にご参加いただいている。コロナ禍において自宅に引きこもりがちになり体力・気力が弱ってしまった高齢者の方に対して、これまで接点のなかった方たちとの交流や社会参加を促すため、年齢、性別に関係なく取り組むことができるeスポーツに接していた。eスポーツの提供を考えていく機会を捉えていく。eスポーツは手足や頭をよく使うためフレイル予防や健康促進の効果ができるものであり、eスポーツが楽しめる「通いの場」の開設も検討したいと考えている。

ほかの質問

・認知症高齢者等個人賠償責任保険制度について

委員会審査

総務委員会

空飛ぶクルマ社会受容性向上事業委託料 200万円

地域の課題解決への活用が見込まれる次世代航空モビリティ「空飛ぶクルマ」について、安全性や地域への効用に対する理解を深めるため、デモフライト等を実施することにより、社会実装に向けた機運醸成を図るもの。

今治市庁舎構内駐車場条例の一部を改正する条例制定について 4件  
人事院の給与勧告に鑑み、職員の給与、議員等の期末手当について、改定をするもの。

今治市庁舎構内駐車場条例の一部を改正する条例制定について  
今治市庁舎構内駐車場の機械化により駐車場の使用料を改定し、その他所要の改正をするもの。

水防活動費

1394万5千円

7月8日、9日、7月19日、8月18日の大雨と9月18日の台風14号による応急処置委託料等。

財産の取得について(小型動力ポンプ)  
消防団が使用する小型動力ポンプ14台の更新。

教育厚生委員会

障害者福祉推進費

1094万8千円

今治市個人情報保護法の施行等に関する条例制定について  
個人情報保護の保護に関する法律の改正に伴い、必要となる条例を制定するもの。  
日常生活のケアに加え、物価高騰によりさらなる負担を伴う重度障がい児を養育する子育て世帯に

対し、生活支援としての  
応援金を給付することに  
より育児負担の軽減を図  
るもの。また、指定管理  
施設における燃料価格等  
高騰に対応するため、公  
の施設管理者に対し、高  
騰分の一部を助成するも  
の。

### 子どもが真ん中応援事 業費

2600万円

紙おむつの購入を支援  
する「愛顔の子育て応援  
事業」の対象とならない  
第1子を対象に「子ども  
が真ん中応援券」を追加  
交付し、物価高騰による  
子育て世帯への経済的負  
担の影響を緩和すると  
もに、出産を希望する女  
性が安心して産み育てら  
れる環境を整備するもの。

### こども未来応援金給付事 業費

3億2800万円

食料品価格が著しく高  
騰する状況を踏まえ、発  
育期の児童を養育する子  
育て世帯への影響を緩和

するために応援金を給付  
するとともに、マイナン  
バーカードの利用促進に  
より、将来にわたる育児  
負担の軽減を図るもの。

### 学校運営費

100万円

放課後の時間を有効活  
用し、課外活動の一環と  
して児童の基礎学力の向  
上に向けた取組を実証的  
に開始するもの。

### 社会教育推進費

22万5千円

食材高騰の影響を受け  
ている子ども食堂を運営  
する団体等に対し、高騰  
分の一部を支援すること  
により事業継続を図るも  
の。

### 産業環境委員会

### 畜産配合飼料価格高騰対 策支援事業費

4223万7千円

配合飼料価格高騰の影  
響を受ける畜産農家の飼  
料コスト低減や収益確保  
の取組を支援することで、

飼料価格高騰の影響を受  
けにくい経営体質への転  
換を促し、安定供給体制  
の維持を図るもの。

### 今治タオル（捺染）原材 料費高騰対応事業費

2000万円

コロナ禍による贈答用  
需要等の減少に加え、原  
材料価格高騰の影響を受  
けるタオル関連事業者に  
対し、原材料等購入費の  
一部を助成することによ  
り事業継続を支援し、タ  
オル産地の生産維持を図  
るもの。

### 伝統産業（大島石、菊間 瓦）燃料費高騰対応事業 費

1700万円

コロナ禍における燃料  
価格高騰の影響を大きく  
受ける大島石採掘事業者、  
菊間瓦製造事業者に対し、  
高騰分の一部を助成する  
ことにより事業継続を支  
援し、本市伝統産業の生  
産維持を図るもの。

### 指定管理施設燃料費等高 騰対応事業費

1301万1千円

指定管理施設（火葬場、  
観光施設、社会教育施設、  
体育施設）におけるエネ  
ルギー価格等高騰に対応  
するため、公の施設の指  
定管理者に対し、高騰分  
の一部を助成するもの。

### 建設水道委員会

### 瓦のふるさと公園の指定 管理者の指定について

令和5年4月1日から  
令和10年3月31日までの  
指定管理者に、菊間町窯  
業協同組合を指定するも  
の。

### 県営港湾整備事業費

1590万円

国の内示等に伴う県営事  
業負担金の補正。

### 災害復旧事業費

440万円

7月から9月の大雨に  
かかる災害復旧事業を行  
うもの。

### 地方創生特別委員会

### 船舶交通特別会計繰出金

460万円

人事異動等に伴う人件  
費の増加及び船舶賃借料  
の増加等に伴う繰出金の  
増額。



市議会ホームページへアクセスしてみませんか



市議会の活動をより詳細にお伝えするため、ホームページを開設  
しています。ぜひアクセスください。



アドレス <https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/>

令和4年12月定例会 議案の審議結果

番 号	件 名	結 果
		12月5日議決
議案 79	令和3年度 今治市水道事業決算の認定について	認 定(全会一致)
議案 80	令和3年度 今治市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決(全会一致)
議案 81	令和3年度 今治市簡易水道事業決算の認定について	認 定(全会一致)
議案 82	令和3年度 今治市工業用水道事業決算の認定について	認 定(全会一致)
議案 83	令和3年度 今治市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決(全会一致)
議案 84	令和3年度 今治市公共下水道事業決算の認定について	認 定(全会一致)
議案 85	令和3年度 今治市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決(全会一致)
議案 87	令和3年度 今治市一般会計特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定(全会一致)
		12月8日議決
	議会運営委員長に報告を求める動議	原案可決(賛成多数)
		12月21日議決
議案 117	専決処分について ・令和4年度 今治市一般会計補正予算(第5号)	原案承認(全会一致)
議案 90	令和4年度 今治市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(全会一致)
議案 91	令和4年度 今治市船舶交通特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案 92	令和4年度 今治市小規模下水道特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案 93	令和4年度 今治市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案 94	令和4年度 今治市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案 95	令和4年度 今治市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案 96	令和4年度 今治市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案 97	今治市個人情報保護法の施行等に関する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 98	今治市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 99	今治市議会議員に対する議員報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案100	今治市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案101	今治市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案102	今治市会計年度任用職員の給与等及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案103	今治市庁舎構内駐車場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案104	今治市母子生活支援施設条例を廃止する条例制定について	原案可決(賛成多数)
議案105	今治市玉川龍岡活性化センター条例を廃止する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案106	財産の取得について(小型動力ポンプ)	原案可決(全会一致)
議案107	新たに生じた土地の確認について(伯方港埋立造成地)	原案可決(全会一致)
議案108	字の区域の変更について(伯方港埋立造成地)	原案可決(全会一致)
議案109	今治市立図書館の指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)
議案110	今治市営スポーツパークの指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)
議案111	今治市鈍川せせらぎ交流館の指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)
議案112	今治市宮窪カレイ山展望公園の指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)
議案113	今治市大三島海洋温浴館及び農村交流館の指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)

番号	件名	結果
議案114	瓦のふるさと公園の指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)
議案115	船舶交通特別会計への繰入額の変更について	原案可決(全会一致)
議案116	小規模下水道特別会計への繰入額の変更について	原案可決(全会一致)
報告 12	専決処分について <ul style="list-style-type: none"> <li>・損害賠償額の決定及び和解について</li> <li>・損害賠償額の決定及び和解について</li> <li>・損害賠償額の決定及び和解について</li> <li>・損害賠償額の決定及び和解について</li> <li>・損害賠償額の決定及び和解について</li> </ul>	受 理
発議 7	今治市議会個人情報保護条例制定について	原案可決(全会一致)
議案118	令和4年度 今治市一般会計補正予算(第7号)	原案可決(全会一致)

## 令和4年12月定例会 請願・陳情の審議結果

【今議会に提出されたもの】

番号	件名	結果
請願第4号 (R4.12.5受理)	学校給食の無償化を求める意見書の提出に関する請願	不採択(賛成少数)

【前議会から継続しているもの】

番号	件名	結果
陳情第6号 (R4.6.10受理)	加齢性難聴者への補助器具購入に対する公的補助制度創設を求める陳情について	継続審査

## 各議員の議案等に対する賛否状況

賛否の分かれた案件の賛否状況を記載しています。

議員名 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	21	22	23	25	26	27	28	29	30
	内山葉子	上村悦男	丹下大輔	黒川美樹	壺内和彦	森本真博	永井隆文	松田澄子	達川雄一	羽藤謙一	山野有造	藤原秀博	越智忍	木村文広	渡部豊	谷口芳史	近藤博	矢野雄嗣	森京典	越智卓三	中村洋行	井手秀夫	平田明	加藤政博	寺井敏彦	松田順人	堀田順人	
議会運営委員長に報告を求める動議	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	議	議	○	○	○	欠	欠	○	○	×	○
議案104	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	議	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
請願 4	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	議	議	×	×	×	欠	×	×	×	×	

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席

※ 矢野雄嗣議員は、議長職のため表決に加わっておりません。

※ 議会運営委員長の報告を求める動議は12月8日、それ以外は12月21日に議決。

※ 記載のない案件については全会一致。

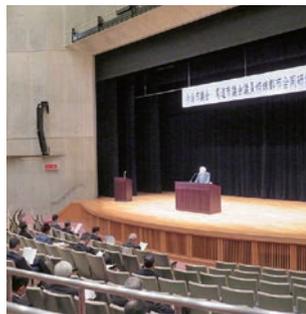
### 表彰の伝達

総務大臣から次の議員に感謝状が贈られました。

■総務大臣感謝状

議員在職35年以上

寺井 政博 議員



令和4年11月1日、尾道市瀬戸田町ベルカントホールにおいて、今治市議会・尾道市議会議員姉妹都市合同研修会が開催されました。「政務活動費の留意事項」について、講師に元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏をお招きし、研修を通して両市の交流を深めました。

姉妹都市合同  
研修会

# 常任委員会視察報告

11月14日から11月18日にかけて常任委員会では行政視察を実施しました。  
その内容を皆様にご報告いたします。

## ■総務委員会（11/17から11/18）

### 愛知県一宮市

平成30年度からRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション 定型的業務に対して専用ソフトにより職員がプログラムを組み業務を機械に行わせる）の官民連携の実証実験から始まり、愛知県内市町村でのAI-OCR（手書きや印刷された紙データをコンピュータが利用できるようデジタルデータに変換する技術で、これに人工知能を搭載してより精度の高い文字認識を可能にしたもの）の共同運用により、令和3年度においては14業務に導入され、従前5035時間要していたものが約84%の時間削減の成果を上げている。

### 奈良県奈良市

同じく平成30年度にRPAの実証実験を行い、翌平成31年度に国民年金課において本格導入し、次年度以降、RPA開発及び導入が進み、令和3年度においては22業務に導入されている。

各課職員の認識の浸透やシステム構築のための職員のスキルアップにかかる時間、そしてサポート体制の整備が必要とのことで、今後の展望としては、このRPA導入の利点は、機械が業務を行うことにより、人為的ミスがなくなり迅速に処理ができるので、導入をさらに広げていきたいとのことでした。



奈良県奈良市での視察の様子（11/18）

## ■教育厚生委員会（11/14から11/15）

### 埼玉県新座市

新座市の「子どもの放課後居場所づくり（ココフレンド）事業」は平成24年度より開始した事業で、小学校施設を活用し、地域の協力を得ることで、子供たちが安全・安心に過ごせる居場所づくりを目的としていた。小学校全学年の児童を対象としており、学童に入室している児童も参加が可能。学校・地域・大学・民間企業等と連携し、学習・遊び・体験・異学年交流といった様々な活動の場を子供たちに提供することにより、子供たちが地域社会の中で心豊かで健やかに育つ環境づくりを推進していた。

### 東京都渋谷区

渋谷区では、妊娠期から18歳までの子どもがいる全ての子育て世帯に切れ目なく支援する多種多様な機能を備えた新拠点「渋谷区子育てネウボラ」を2021年8月にオープン。

保健所、子ども家庭部、教育委員会等、これまで子育てに関わる事業を実施してきた各部署を1カ所に集約し、ワンストップで支援が受けられるよう、横断的な子育て支援を展開していた。

説明の後、ネウボラ施設の現地視察を行なったが、施設内には区が民間事業者へ運営を委託する「渋谷区神南ネウボラ子育て支援センター」を開設しており、子育ての大変さを癒す空間となっていた。



埼玉県新座市での視察の様子（11/14）

# 常任委員会視察報告

## ■産業環境委員会（11/14から11/16）

### 新潟県新潟市

「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」は、市が公募した民間事業者とマネジメント契約を締結し、そのマネジメント事業者が、アウトドアと健康をテーマに、イベントや飲食店出店を行うなど、信濃川の水辺にある事業区域の運営・管理を担っている。行政は、河川管理者へのつなぎ役、仮設トイレなど利用環境整備、広報の支援を行っている。コロナ禍前までは、利用者が毎年増えており、今後は「やすらぎ堤」を1年中利用される空間にして、より幅広い世代から利用される、新潟市を代表する取組にしていきたいとのことであった。



新潟県新潟市での視察の様子（11/14）

### 群馬県高崎市

高齢化や後継者不足などで閉店する個人の飲食店が相次ぐ中、「長年愛され、失うには惜しすぎる絶品ローカルグルメを絶やすな」という思いで、地域住民に愛され続けている飲食店にスポットを当て、その魅力をブランド・シティプロモーション事業「絶メシリスト」として、平成29年9月からインターネットやSNSを活用して発信している。特集番組やドラマが作成されるなど、メディアでの反響も大きく、その取組は他の自治体にも広がりを見せている。



## ■建設水道委員会（11/15から11/17）

### 愛知県豊田市

訪問した「あすけ水の館」は市内にある7つの下水浄化センターのうち最も新しく、平成28年に供用を開始した。処理能力は1日当たり最大1,800立方メートルの小規模下水浄化センターで、維持管理の簡便さや処理性能の安定性を考慮し、処理方法は膜分離活性汚泥法を採用している。大腸菌よりも目が細かい、ろ過膜のユニットを設置することで、他の方法よりも必要水槽数や機器類が少なく済み、初期費用だけではなくライフサイクルコストも削減可能といった特長があった。



愛知県豊田市での視察の様子（11/15）

### 愛知県豊橋市

三河港の港湾事業について説明を受けた。三河湾の三河港は広大かつ自然環境豊かな水域があり、蒲郡市、豊川市、豊橋市、田原市に面しており、中部地域の自動車産業の集積地として、自動車貿易では輸出入ともに、世界レベルでトップクラスの取り扱いを誇っている。自動車貿易の実績と周辺関連企業の集積を生かし、指定された地区に立地した事業者に奨励金を交付するなど、豊橋市独自の優遇制度を活用し、さらなる地域産業の活性化を目指している。

# 決算特別委員会委員長報告（概要）

10月14日、11月8日及び9日の3日間にわたり委員会を開催し、  
議案第79号「令和3年度 今治市水道事業決算の認定について」  
議案第80号「令和3年度 今治市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」  
議案第81号「令和3年度 今治市簡易水道事業決算の認定について」  
議案第82号「令和3年度 今治市工業用水道事業決算の認定について」  
議案第83号「令和3年度 今治市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」  
議案第84号「令和3年度 今治市公共下水道事業決算の認定について」  
議案第85号「令和3年度 今治市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」  
議案第87号「令和3年度 今治市一般会計特別会計歳入歳出決算の認定について」

以上8件の審査を行いました。

12月5日の本会議において、委員長が審査の過程で論議された主な事項について報告を行いました。以下、その概要をお知らせします。

## ■水道事業会計

Q 今後の収支計画について。

A 給水人口の減少に伴い収益の増加は見込めない状況であり、費用についても令和3年度は増加している。今後は、広域的な送水を行うことで小規模な水源を統合するなど、維持管理経費を縮減して、できる限りの経営合理化に努めていきたい。

## ■簡易水道事業会計

Q 有収率が低い原因について。

A 管の埋設深が浅いことが原因と考えられ、令和4年度に漏水調査を実施する予定であり、管の修理や、布設替えをして、有収率を上げる措置を取りたい。

## ■公共下水道事業会計

Q 桜井地区の管渠整備事業が完成したときに下水浄化センターの稼働率に問題は出てこないのか。

A 現在、下水浄化センターの施設利用率には余裕があるため、桜井地区の面整備終了後においても現有の能力で十分まかなえると想定している。

## ■民生費

Q 市民が真ん中相談センターの実績について。

A 相談件数について、市民相談センターのときは月平均約40件であったが、市民が真ん中相談センター開設後は、令和3年度末までで月平均約180件に増加している。

## ■商工費

Q 今治キャッシュレス決済還元事業の執行について。

A 令和2年度、令和3年度の執行は半分程度だが、令和4年度は予算6億円に対して5億円程度の執行が見込まれている。

## ■教育費

Q 小学校及び中学校のICT支援員配置業務委託料に関する人数と業務内容について。

A 人員は小学校・中学校合わせて5名で、授業におけるICT機器の活用及び操作支援、利用促進のための研修会の開催などを行っている。

## ■船舶交通特別会計

Q とびしま船舶使用料について令和4年度から支払う必要がないということは、会計状況が大変良くなり、繰入金が半分以下になるのか。

A 繰入金については、国、愛媛県の補助金の関係があるので、半額になるかどうかは分からないが、繰入金は減ると考えている。

## ■小規模下水道特別会計

Q 資本費平準化債を発行しているが、資本費平準化債以外の市債は最長いつまで償還するのか。また、これまでも処理場の統合等により費用の節減を図ってきたと思うが、今後、下水道事業の改善に向けて何か考えているか。

A 農業集落排水施設の建設に係る市債については約30年先まで償還する状況である。経営改善の方法として、最も効果があり、最も取り組んでいかなければならないのは、施設の統廃合であるが、統廃合が難しい施設を改築、更新する場合、また農業集落排水施設同士を統廃合する場合は市債を発行する。

# 今治青年会議所との意見交換会を開催

令和4年11月18日に正副議長、広報広聴特別委員会等12名の議員と、今治青年会議所10名による意見交換会を開催しました。

最初に今治市議会についての概要を説明したあと、「中心市街地の再生について」をテーマに、4班に分かれてグループディスカッションを行いました。中心市街地を大きく「みなとエリア」「商店街エリア」「シビックエリア」の3つに分類し、それぞれのエリアについて意見交換を行いました。各班とも活発な意見が出され、最後に各班で出された意見をまとめ、発表を行いました。



## 主な意見

### みなとエリア

- ・駐車場が少なく人が集まるには不便。はーばりーの有効活用を検討してはどうか。
- ・定期的なイベントによる集客や、海や今治城をセットで楽しめる集客が必要ではないか。
- ・市役所等を港に移し、飲食店や娯楽施設等も複合した施設にしてはどうか。

### 商店街エリア

- ・地域の魅力発信の場や、マンションが建っており住民と共存するまちづくりはどうか。
- ・屋台村のようにしてはどうか。夜市とマルシェを絡めるのはどうか。
- ・みなとエリアとシビックエリアの集客によって人が通るエリアとなるのではないか。

### シビックエリア

- ・地味なイメージがあるのでライトアップして、中心地から今治市を明るくしてはどうか。
- ・セントラルパークのような大きな公園を整備し、小学校をレンタルオフィスにしてはどうか。
- ・オフィス、保育園、公園等を集め、子育てと仕事を両立しやすくしてはどうか。

議会日記



令和4年8月

26日 矢野議長海事業業  
に対する支援要望  
活動、日本一住み  
たいまちいまばり  
フェア出席のため  
東京都へ27日まで  
出張

11日 北海道帯広市議会  
議員視察  
越智(忍)副議長愛媛  
県市議会議長会秋季  
定期総会出席のため  
松山市へ出張  
12日 矢野議長第84回全  
国都市問題会議出  
席のため長崎県長  
崎市へ13日まで出  
張

9月

21日 会派代表者会議  
広報広聴特別委員会

13日 青森県弘前地区環境  
整備事務組合議会議  
員視察

22日 福岡県芦屋町議会  
議員視察

14日 決算特別委員会  
18日 矢野議長全国市議  
会議長会研究  
フォーラム出席の  
ため長野県長野市  
へ20日まで出張

26日 群馬県太田市議会  
議員視察

27日 岐阜県議会議員視察  
龍ヶ崎地方衛生組  
合議会議員視察

28日 矢野議長伊予市双  
海地域自動運転バ  
ス乗車会出席のた  
め伊予市へ出張

31日 愛知県碧南市議会  
議員視察  
11日 栃木県真岡市議会  
議員視察

4日 鹿児島県霧島市議  
会議員視察

19日 福岡県糸島市議会  
議員視察

5日 広報広聴特別委員会  
矢野議長東京都荒  
川区議会表敬訪問、  
議員会館挨拶回り、  
全国高速自動車道  
市議会協議会第1  
回理事会出席のた  
め東京都へ6日ま

20日 静岡県議会議員視察  
千葉県東金市議会  
議員視察  
北海道北見市議会  
議員視察  
東京都目黒区議会  
議員視察  
茨城県日立市議会  
議員視察  
矢野議長おたス  
ポーツ・レクリエー

11月

1日 矢野議長、越智(忍)  
副議長、内山、上  
村、丹下、黒川、壺  
内、森本、永井、松  
田(澄)、達川、羽  
藤、山岡、野間、藤  
原、木村、渡部、谷  
口、近藤、森、中  
村、平田、加藤、寺

11日 井、松田(敏)議員  
今治市議会・尾道  
市議会議員姉妹都  
市合同研修会出席  
のため広島県尾道  
市へ出張  
16日 産業環境委員会  
決算特別委員会  
菊池環境保全組合  
議会議員視察  
北海道北斗市議会  
議員視察  
9日 決算特別委員会  
矢野議長日月潭  
Come Bikeday 出  
席のため台湾へ13  
日まで出張  
10日 北海道旭川市議会  
議員視察  
北海道登別市議会  
議員視察  
18日 埼玉県東松山市議  
会議員視察

14日 教育厚生委員会行  
政視察のため埼玉  
県新座市、東京都  
渋谷区へ15日ま  
で出張  
22日 総務委員協議会  
教育厚生委員協議会  
矢野議長いまばり  
の集い(仮称)設立  
準備会に出席のた  
め東京都へ23日ま  
で出張  
25日 産業環境委員協議会

15日 建設水道委員会行  
政視察のため愛知  
県豊田市、豊橋市  
へ17日まで出張  
17日 北海道北斗市議会  
議員視察  
鳥取県大山町議会  
議員視察  
総務委員会行政視察  
のため愛知県一宮  
市、奈良県奈良市へ  
18日まで出張  
18日 矢野議長全国市議  
会議長会 地方財政  
委員会 正副委員長  
会議、第159回地方  
財政委員会、要望  
活動出席のため東  
京都へ18日まで出  
張

18日 埼玉県東松山市議  
会議員視察  
岡山県和気町議会  
議員視察  
青年会議所との意  
見交換会  
総務委員協議会  
教育厚生委員協議会  
矢野議長いまばり  
の集い(仮称)設立  
準備会に出席のた  
め東京都へ23日ま  
で出張  
25日 産業環境委員協議会

19日 岡山県和気町議会  
議員視察  
青年会議所との意  
見交換会  
総務委員協議会  
教育厚生委員協議会  
矢野議長いまばり  
の集い(仮称)設立  
準備会に出席のた  
め東京都へ23日ま  
で出張  
25日 産業環境委員協議会

20日 静岡県議会議員視察  
千葉県東金市議会  
議員視察  
北海道北見市議会  
議員視察  
東京都目黒区議会  
議員視察  
茨城県日立市議会  
議員視察  
矢野議長おたス  
ポーツ・レクリエー

21日 矢野議長おたス  
ポーツ・レクリエー

22日 産業環境委員会  
決算特別委員会  
菊池環境保全組合  
議会議員視察  
北海道北斗市議会  
議員視察  
鳥取県大山町議会  
議員視察  
総務委員会行政視察  
のため愛知県一宮  
市、奈良県奈良市へ  
18日まで出張  
18日 矢野議長全国市議  
会議長会 地方財政  
委員会 正副委員長  
会議、第159回地方  
財政委員会、要望  
活動出席のため東  
京都へ18日まで出  
張

23日 産業環境委員協議会

24日 産業環境委員協議会

25日 産業環境委員協議会

26日 産業環境委員協議会

27日 産業環境委員協議会

28日 産業環境委員協議会

29日 産業環境委員協議会

30日 産業環境委員協議会

31日 産業環境委員協議会

広報広聴特別委員会

- 委員長 中村 卓三
- 副委員長 達川雄一郎
- 委員 内山 葉子
- 委員 上村 悦男
- 委員 黒川 美樹
- 委員 永井 隆文
- 委員 野間 有造
- 委員 越智 豊
- 委員 松田 敏彦

市議会に対するご意見・ご要望をE-mailまたはFAXでお寄せください。お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考とさせていただきます。

E-mail : gikai@imabari-city.jp  
FAX : 0898-36-1582

